

高齢者あんしんサポート事業

社会福祉法人 多摩市社会福祉協議会

〒206-0032 東京都多摩市南野3-15-1

助成事業の概要

多摩市は、令和4年3月現在高齢化率 29.2% となるなど、急激に高齢化が進んでいる地域となります。高齢者のみ世帯や高齢者単身世帯が増加する中で、家族からの支援が得られない高齢者に対して、日常的な生活の見守りや入院・入所の手続き支援など、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、新たな事業の構築が必要とされており、そのためには、多摩市においてどのようなニーズがどれだけあるのかを把握することが必要であり、その内容に対応する事業展開が必要です。そこで、今回、市内在住高齢者に対するニーズ調査を行うとともに、先駆的な事業活動に取り組んでいる社会福祉協議会等を視察するなど、支援を必要としている高齢者のニーズの把握と事業の構築に取り組みました。

法政大学現代福祉学部宮城孝ゼミの協力のもと、令和3年11月より2か月間、多摩市の概ね65歳以上の高齢者 2,435 人を対象にニーズ調査を行い、1,085 人からの回答を得られ、その内容をまとめた報告書を作成いたしました。また、コロナ禍であったため、当初予定した視察からオンラインでのヒヤリングに変更とはなりましたが、先駆的な事業内容の聞き取りを行いました。聞き取り内容や報告書の内容を基に、効果的な事業展開を検討していきます。

事業の成果

今回のニーズ調査の内容から、子どもなどの親

族のサポートが得にくいひとり暮らし高齢者は「定期的な見守り」と「入退院・入退所時の身元引受人や保証人、手続きや支払い等の支援」、「家財・金銭の管理や処分」についてのニーズを有していると考えられます。

上記のニーズを踏まえると、今後必要だと考えられるサービスとして、「定期的に連絡をして安否確認を行う見守りサービス」、「入退院、入退所時に身元引受人や保証人に準じた支援を行うサービス」、「入退院、入退所時の手続きや支払いに加えて自宅の管理を行うサービス」、「日頃の金銭管理を行うサービス」、「死後の家財処分を行うサービス」などが考えられます。

また、上記サービスの金額については、本調査結果を踏まえると「定期的に連絡をして安否確認を行う見守りサービス」は可能な限り安価にすることが求められていると言えます。一方で、「入退院、入退所時に身元引受人や保証人に準じた支援を行うサービス」、「入退院、入退所時の手続きや支払いに加えて自宅の管理を行うサービス」、「日頃の金銭管理を行うサービス」、「死後の家財処分を行うサービス」等については、サービスを遺漏なく実施できるかどうかや、事業の継続性も考慮しながら、ひとり暮らし高齢者が支払い可能な金額を探っていく必要があります。

本調査結果によって得られたニーズや必要だと考えられるサービスは、既存の福祉制度では支援が受けられない内容も多く、高齢者福祉の現場においても制度の狭間の問題として対応に苦慮する場面が多い問題です。多摩市では、その地域特性から集合住宅に居住する一人暮らし高齢者が多く、

今後益々これらのサービスや支援の必要性が高まると考えられます。従って、本事業で上記サービスを実施することは、多摩市の高齢者福祉における制度の狭間問題への有効な対応策となり得ると考えられます。

■ 成果の広報・公表

今回のニーズ調査結果については、内容を報告書に取りまとめました。

協力いただいた方への報告や高齢者あんしんサポート事業の事業内容の構築時に活用する予定です。

また、報告書の内容を当会のホームページにも掲載し、より多くの皆様に公開していく予定です。

■ 今後の展開

今回、助成をいただき多摩市内の高齢者から、直接ニーズ、必要とされるサービスを聞き取ることができたことにより、今現在、多摩市におけるひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯で抱える課題やニーズが、今ある福祉の制度だけでは支援を受けられない内容も多く、必要とされる新たなサービスの実施が必要なことが明らかとなりました。この結果を踏まえ、多摩市で必要とされるサービスの早期実施に結び付けていきたいと考えています。